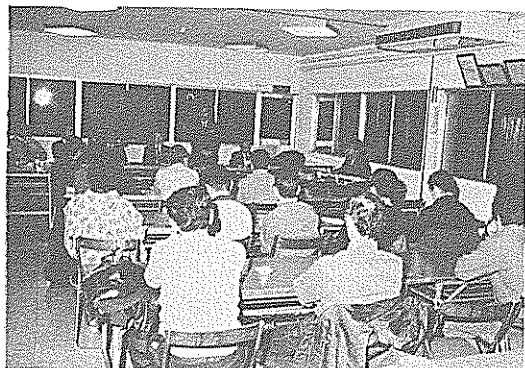


町 免 後 市政こん談会

職員の給与は 高過ぎないか？

商店街の活性化や住居表示などの問題をかかえる後免町で、一月二十九日、市政こん談会が行われました。暖房設備も整った後免町公民館には、小笠原市長、国沢助役や関係課長、地元からは住民十七名が出席し、市政の現状報告の後、地元のかかえる問題について話し合いました。

まず、あいさつに立った市長が



「南国市は県の中心部に位置し、空港、南北道路、黒沙ラインと輸送網も整備されつつあり、発展への大きな可能性も秘めていると言えます。今まで高知県は後進県だから国が援助してくれるものだけという考えがあります。そんな中で、南国市は、県のけん引車となる気持ちで進んでいきたいと思っています。」

企業誘致については、なかなか難しい問題であると思います。企業としては、あらゆる面の綿密な調査をした上での進出を考えています。そのためには、小・中学校のレベルの問題、総合的な娯楽施設の充実、地価、労働力の質の問題など、市民の方々と協力し考えて行かなければなりません。」

空 港

拡張工事は予定通り進み、五十八年度にはほとんど完成します。家の立ち退きについても、十二月十三軒残っていますが、三月までには解決の見込みで、切戸の放水

財 政

路も昨日、地元と話し合いが終わり、また、拡張工事に伴う、うなぎの養殖については市が仲介をとり、県と養殖業者の間で話し合いが済みしました。

数年前、赤字財政と言うことで市民、議会の協力で再建に取り組み表面上の赤字は解消できましたが、二つの公社への借金は木材団地の跡地を除いてもまだ十四億円あり、その返済に毎年二億円をあてなければなりません。この原因は、土地の先行取得にあったことを忘れてはなりません。国の行革もさかんであり、市もいっそうの合理化をすすめて、限りあるお金をどのように使うか良く考えて財政再建を進めて行きます。

税

五十七年度税収見込みは二十五億円、内訳は市民税十一億円、固

意見交換

定資産税十億円、電気、タバコ消費税など四億円。税収の伸びは、法人、個人の所得の伸び、新築、農地の宅地化、評価換えなどが考えられますが、大きな伸びは期待できません。医大、空港ができて、も税収は期待できませんし、やはり無公害企業の誘致をして、豊かな南国市に努力したいと思っています。

□後免の商店街をいかに活発にしていけるか。そのための駐車場の整備など考えてもらえないか。

■この問題はたいへん難しい問題であり、まずは住民の方々の協力が基本であると思います。駐車場についても、どの程度メリットがあるかはつきりしませんとかなかなかできません。

□商店街の道路の側溝がこれ、水が流れなくなっているので早急に修理して欲しいが。

■測量して、建設課の方で対処するようにします。

□非住家危険家屋が放置され、非行少年の巣にもなりかねません。管理者に個人的にも言えませんが、市の方で何とかしてもらえないか。

■環境保健課の方を窓口としてお知らせください。

□職員の給与が高過ぎはしないか。また遅刻や勤務時間中の外出など職員の資質も疑われる。広報においてもこの問題がほとんど触れられていない。先日新聞でも「高過ぎる地方公務員給与」と題して住民はもっと文句を出しているが。

■給与の公開についてもっと市民から要望していただきたいと思っています。給与については、それに値する職員もいれば、値しない職員もあり一律であることにも問題があるようです。退職金については、銀行の役員や大学教授の退職金とも変わりません。それが当然と言う声もあれば、おかしいと言う方もあると思います。

職員の勤務状態につきましても年頭に、もっと尻を落をつけるよう指導しています。

□図書館の土・日曜の開館をして使用できるようにしては。

■土・日曜開館となると職員増もしなければなりません。南国市のように広い面積ですと、利用者も限られてきます。勉強は、土・日曜が開館されないからできないというものではなく、土曜日に多くの本を借りて家で勉強することも大事です。

約二時間半のこん談会では、商店街発展の難しさと住民の職員に対する厳しい意見が特徴でした。

3月1日から

後免町が新しい町名に

一部は現行のまま

昔も今も、後免町は文字通り南国市の中心地。ところが、商店や住宅が密集し、住居の表示が分かりにくくなっています。

その原因として、「地番が順序に並んでいない」「地番が分合等を繰り返し複雑になっている」などがあげられます。

その結果①郵便や電報が遅れたり、間違って配達されたりする②尋ね先がよくわからなくて訪問者がとまどう③救急車、消防車、パトカーなどの現場到着が遅れて被害が大きくなるなど、市民生活にいろいろな弊害が生じています。

そこで、昭和五十四年ごろから、南国市住居表示審議会を設置、また、地元においては住居表示協力をすすめていたため、新しい町づくりのために、積極的に取り組んできました。

昭和五十六年十月六日、南国市住居表示審議会が最終的な住居表示案を決定、昨年の十二月定例市

3月1日より変更

議会で可決され、五十七年三月一日より実施されることになりました。

市役所では、三月一日からスムーズに住所が変更されるよう、今その準備を進めています。新しい町名（後免町で残る部分のぞく）が実施され、郵便、履歴書、公文書、その他あらゆる住所欄は、次のように表わされます。

このように、
南国市後免町〇丁目〇番地〇号
町 名 街区番号 住居番号

後免町に住むみなさんにはもとより、市民のみなさんのご理解とご協力をおねがいします。

※市役所からの「広報紙」や「回覧文書」については、従来通りの「班」でおねがいします。

